

第3回

日光白根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

議事概要

1. 日時 令和元年12月11日(水)13時30分～15時30分
2. 場所 栃木県庁 昭和館4階 多目的室
3. 出席者

【委員長】

執印 康裕 (宇都宮大学 教授)

【学識委員】

堀田 紀文 (東京大学 准教授)

中村 洋一 (宇都宮大学 名誉教授)

【委員】

別紙の通り。

4. 議事概要

【基本対策と緊急対策の切り分けについて】

- 日光白根山においては、降灰後土石流・融雪型火山泥流に対して平常時からの基本対策による施設整備により被害を防ぐことを基本とする。現況あるいは基本対策の整備途中で噴火が発生した場合は、地形と施工時間から実施可能な対策を緊急対策として行う。

【基本ハード対策で対応可能な規模の検討について（融雪型火山泥流）】

- 融雪型火山泥流に対して基本ハード対策で対応可能な規模は、小川、仁加又沢に対して現況の地形で最大限の施設配置をした場合を想定したシミュレーションにより確認した。
- その結果、火砕流規模30万 m^3 (融雪型火山泥流で泥流総量110万 m^3)では対応可能であることを確認した。そのため日光白根山における融雪型火山泥流に対する基本対策で対応可能な対象規模は110万 m^3 とする。
- 積雪深は観測により把握することも可能であるので、融雪型火山泥流の検討に当たっては、火砕流の規模だけでなく積雪深の変化による影響範囲についても検討をすること。そうすることでソフト対策のみで対応するのか、ハード対策も実施するのかの判断の一助となる。

【基本ハード対策で対応可能な規模の検討について（降灰後土石流）】

- 降灰後土石流に対する基本ハード対策は、既存施設による効果量を踏まえ算出した計画対象土砂量の全量を捕捉するための施設配置を検討すること。なお、栃木県側の降灰後土石流に対する対策の実施主体については、今後関係機関と協議の上決定する。

【緊急ハード対策について】

- 群馬県側、栃木県側における緊急対策について、本委員会で示した緊急ハード対策の考え方に準じて各対策箇所において検討を進めること。
- 光徳地区沢・光徳園地沢の緊急対策については本委員会で示した内容とする。
- 緊急ハード対策の優先度の設定は、噴火発生前（噴火が切迫した段階）において保全対象戸数や、降灰シミュレーションによる計算結果を基に設定する。ただし、噴火発生後は実際に火山灰が堆積した溪流に対して対策を実施する。
- 1ヶ月よりも短い期間で対策を実施することも想定されるため、週単位で実施可能な対策についても検討し計画書に記載すること。
- 緊急ハード対策を今後検討していくに当たっては、ブロック構造等を複数検討し、最も効果的なものを検討しておくこと。
- 限られた時間で対策を実施することが想定されるため、資機材のストックヤードの整備など事前の準備を確実に進めること。

【火山噴火時の緊急調査について】

- 火山噴火時の緊急調査で実施する項目について確認した。今後は火山噴火に備えた緊急調査の準備を進める。

【平常時からの準備事項について】

- 対策に必要となる土地使用の手続きについて、林野庁管轄の国有林、保安林においては、他火山の事例を踏まえ申請内容やタイミングについて確認した。民間事業者との申請様式、手続きタイミング・処理期間等については今後協議する。
- 緊急資機材の備蓄・調達方法については、近傍に既存の備蓄ブロックがないため、日光白根山周辺での備蓄ヤード候補地について検討すること。
- 地域住民、市町村との連携事項について、今後緊急対策の具体化を検討していく際には、火山防災協議会の市町村の避難計画との整合を図りながら検討を進めること。
- 平常時からの準備事項については火山防災協議会と着実に連携を図り準備を進めていくことが望ましい。

【計画書のとりまとめについて】

- 緊急減災対策砂防計画（案）について、現在の検討状況をもとに計画書（案）を作成し次回委員会で確認する。

【次回委員会について】

- 次回委員会は来年2月中に開催を予定する。

第3回 日光白根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 出席者名簿

氏名	所属、役職
【欠席】伊東 明彦	宇都宮大学 教授
執印 康裕	宇都宮大学 教授
中村 洋一	宇都宮大学 名誉教授
堀田 紀文	東京大学 准教授
石塚 吉浩	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 火山活動研究グループ長
水野 正樹	国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 深層崩壊対策研究官
三輪 賢志	国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 上席研究員
【欠席】西脇 誠	気象庁 地震火山部 火山課 火山監視・警報センター所長
本多 誠一郎	気象庁 宇都宮地方气象台 台長
山田 隆徳	気象庁 前橋地方气象台 台長
斎藤 均	林野庁 関東森林管理局 日光森林管理署長
小川 靖志	林野庁 関東森林管理局 利根沼田森林管理署長
【欠席】水崎 進介	環境省 関東地方環境事務所 日光国立公園管理事務所長
【欠席】佐藤 寿延	国土交通省 関東地方整備局 河川部長
(代理) 笠原 治夫	国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川保全管理官
【欠席】神山 正幸	栃木県 県民生活部 危機管理課長
(代理) 田村 良夫	栃木県 県民生活部 危機管理課 課長補佐
天尾 潔	栃木県 県土整備部 砂防水資源課長
【欠席】大嶋 一生	栃木県 日光市長
(代理) 小松 竜也	栃木県 日光市企画総務部総務課課長補佐
【欠席】堀越 正史	群馬県 総務部 危機管理室長
(代理) 熊川 竜	群馬県 総務部危機管理室 主事
【欠席】大竹 哲也	群馬県 県土整備部 砂防課長
(代理) 住谷 俊輔	群馬県 県土整備部 砂防課 主幹
【欠席】横山 公一	群馬県 沼田市長
(代理) 原 隆雄	群馬県 沼田市総務部防災対策課課長
梅澤 志洋	群馬県 片品村長